

有明高専だより

第168号

2025. 12



学生の活躍 (大阪・関西万博への出展)



オープンキャンパス (建築コース)



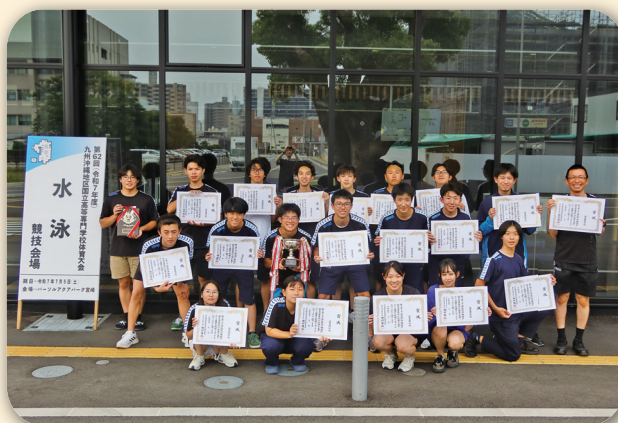
サーキットデザイン教育センター開所式



クラスマッチ (バレーボール競技)



シンガポール海外研修



高専体育大会

■ 校長挨拶	1
■ 学生の活躍・活動	2～3
■ 入試広報	4
■ 産学連携	5～6
■ 学生会だより (クラスマッチ)	7

目次

■ 九州沖縄地区高専体育大会	8
■ 全国高専体育大会	9
■ 岱明寮だより	10
■ グローバル教育	11～12
■ 部活動紹介 (吹奏楽・フォークソング)	13

校長だより

「地域と一体となった取り組みの積み重ねにより 新たな人財育成を推進し、イノベティブなマインドを育む」

有明工業高等専門学校 校長 八木 雅夫



有明高専は、教育理念として、「幅広い工学基礎と豊かな教養を基盤に、創造性・多様性・学際性・国際性に富む実践的な高度技術者の育成をめざす」ことを掲げ、人財育成を推進しています。

高専だよりの前号で、コロナ禍を経た令和5年度以降は、多様な取り組みが急激に動き始めたと記しました。令和5年の夏、2年生（この年は3年生も）が参加するシンガポール海外研修がようやく実現し、また、アントレプレナーシップ・マインドの醸成をはかるため起業家工房が整備され、有明工房生の活動も始まりました。令和6年度当初にはグローバル・エデュケーション・センターと国際係が誕生し、グローバル教育を着実に進める体制を整えました。令和7年度に入ると、全国の国立高専と連携して半導体設計人財を育成する「サーキットデザイン教育センター CDEC」が設けられました。

ご承知の通り、半導体は現代社会を支える基幹技術であり、その重要性はますます高まっています。特に、有明高専が位置する「シリコンアイランド九州」は、我が国の半導体産業を牽引する一大集積拠点です。この地において、次代を担う優れた半導体設計技術者を育成することは、地域社会はもとより、日本の産業競争力を維持・強化する上で極めて重要な使命であると確信しています。

このような背景のもと、有明高専ではこれまで培ってきた教育資源と研究実績を結集し、学生が最先端の半導体設計技術を体系的に学べる拠点として、「サーキットデ

ザイン教育センター（CDEC）」を設立しました。本センターは、半導体回路設計に強みを持つ本校の特色を活かし、実践的な教育を展開していきます。

そして、私たちの挑戦は、本校の中だけに留まるものではありません。このセンターをハブとし、高専の半導体人財育成（K-SEMICON）の拠点校である佐世保高専、熊本高専と緊密に連携しながら、全国51の高等専門学校、いわゆる高専ネットワーク全体へと質の高い半導体設計人財教育を展開していきます。この全国的な連携を通じて、日本の未来を担う技術者の育成に貢献したいと考えています。

9月29日におおむたアリーナにおいて、CDEC開所という大きな節目と意義を共有するため、開所式と開所記念シンポジウムを開催しました。シンポジウムでは、半導体教育の未来像や産業界が求める人財像について、第一線でご活躍の安浦寛人九州大学名誉教授や池田誠東京大学教授をはじめ著名な方々にご講演いただき、参加者の皆様と共に未来を深く考える機会としました。「サーキットデザイン教育センター」が、我が国の半導体産業の輝かしい未来を切り拓く人財育成の礎となることをめざして、引き続き取り組んでいきます。

小中学生がめざす進路は多様ですので、有明高専に関する正しい情報を地域にむけて豊富に発信することは大切です。今回は、CDECを中心に未来を見据えた取り組みを紹介しました。

学生の活躍・活動

高専インカレチャレンジ第6弾で優秀賞

一般教育科

2025年7月12日に、SMBC日興証券が主催する「高専インカレチャレンジ第6弾」が開催され、1年5組の國廣蘭々さんが第二位の優秀賞を受賞しました。「ミニフォトプリンタを活用した新たなプリント体験を考える」というテーマのもと、他高専の学生とミーティングを重ね、実際の商品化を視野に入れたアイデアの創出に挑みました。約3ヶ月の活動を通じた努力の成果が評価されました。

また、國廣さんは奈良先端科学技術大学院大学が実施する「JST次世代科学技術チャレンジプログラム（NASIT STELLA プログラム）」の第三期生として選抜されています。このプログラムには、全国から選抜された43名の受講生が参加しています。現在、プログラムのメンターとなる奈良先端科学技術大学院大学の教員の指導を受けながら、自分の興味のある分野を探究すべく積極的にプログラムに取り組んでいます。今後のさらなる活躍を期待しています。



校長室での報告会
(左：八木校長、右：國廣さん)

日本福祉学会九州支部大会で優秀講演論文賞

生産情報システム工学専攻 1年 中田 涼香

私は日本福祉学会九州支部大会2025にて、「騒音下における会話支援のための話者音声の強調」について発表し、優秀講演論文賞を受賞しました。本研究では、騒音下での話者音声の抽出を目的として、プログラミングでマイクの指向性を制御し、目的の音声を強調する手法について検討を行いました。

特に苦労したのは、授業では扱っていない解析ツールを使用した点です。最初はツールの扱い方や計算処理の仕組みが理解できず、目的音声の抽出ができませんでした。それでも先生に相談しながら試行錯誤する中で少しずつ理解が深まり、目的音声が綺麗に抽出できたときには大きな達成感がありました。

今回の受賞は、指導くださった先生のおかげであり、大きな励みになりました。これからは実環境での動作確認や精度向上に取り組む、より実用的な会話支援技術として発展させていきたいと思っています。



校長室での受賞報告

地元企業のインターンシップにて

応用化学コース 4年 坂口 蓮

私はインターンシップで、デンカ株式会社大牟田工場の製造現場と研究部門を見学・体験し、化学産業の仕事を幅広く学ぶことができました。蛍光体製造部では、原料の混合から焼成、粉碎、ふるい分けと続く工程を見学し、多くの人が連携して一つの製品を形にしていることを実感しました。現場では安全管理が徹底され、作業前にリスクを共有する姿勢が強く印象に残りました。また、セラミック研究部ではXRDやXRF、ICP-MS、SEMといった分析機器を使わせていただき、測定条件やサンプル処理の重要性を学びました。学校で触れた理論が、実際の現場でどのように活かされているかを知る貴重な経験になりました。

最終日の座談会では、有明高専の先輩方から現場のリアルな話や働く姿勢を伺い、研究だけでなく製造・品質管理・生産技術など様々な分野で化学の知識が活かされていることを知りました。今回の実習を通して、自分の進路や将来の働き方について考える良いきっかけになりました。



座談会の様子

精密工学会秋季大会卒業研究発表会で 企業賞を受賞

メカニクスコース

2025年度精密工学会秋季学術講演会卒業研究発表会でメカニクスコース5年生の水野湊さんが工作機械技術振興財団賞を、右ノ子翔真さんがナガセインテグレックス賞をそれぞれ受賞しました。

受賞対象研究発表は下記のとおりです。

【水野湊】金属表面上における油滴挙動の観察に関する研究—マイコン制御シリジポンプの開発と観察システムの構築—

【右ノ子翔真】GX化を目的とした研削流量制御システムの開発

5M 水野さんのコメント

初めてのポスター発表で緊張しましたが、多くの方に研究内容へ関心を寄せていただき、貴重なご意見を頂けたことが大きな励みになりました。

5M 右ノ子さんのコメント

取り組みを評価していただけたことは、大きな励みになります。ご指導くださった先生方や協力してくださった皆さまに心から感謝申し上げます。



校長室での受賞報告を終えて
(左から水野さん、八木校長、右ノ子さん)

大阪・関西万博に出展しました

生産情報システム工学専攻 2年 下川 麻亜

6月18～19日の2日間、EXPO2025大阪・関西万博で開催された【高専未来チャレンジ】へ出展しました。全国から選ばれた25高専が参加し、有明高専からは、私と情報システムコース4年の住彩乃さん、原田唯月さん、松原由奈さんの4人で【有明高専発！サーキットデザイン教育～ぬりえとメタバースゲームで学ぶ半導体・集積回路～】というテーマで、塗り絵やメタバースを活用した「サーキットデザイン教育」体験を提供しました。

今回、私は初めてチームリーダーという立場を経験し、万博来場者や他高専の方々との交流を通じて大きな成長に繋がりました。出展の合間には各国のパビリオンを外から眺めたり、お土産屋さんを巡ったりと、万博の雰囲気を楽しむこともできました。私自身、回路設計が大好きなので、サーキットデザイン教育を通じて回路設計の魅力を子どもたちや多くの方々に伝えていきたいです。



左から原田さん、筆者、松原さん、住さん

ふるさと荘プロジェクトを完遂

建築コース

専攻科建築学専攻の1・2年生の学生たちが、設計演習課題で取り組んできた「ふるさと荘プロジェクト」を無事完了することが出来ました。学生たちは令和6年度11月に発足した「アーバンデザインセンターおおむた」（センター長：建築コース教員・正木 哲）の協力を得て、1970年に建設された元旅館・古里荘をゲストハウスとして蘇らせるプロジェクトに参加しました。これまで学んだ「解築学」の観点から、設計演習授業の一環として、2025年6月から8月にかけて古里荘の宿泊室のリノベーションに取り組み、設計から施工まで自ら行いました。石炭入りコンクリートなどを用いた大牟田らしい部屋が完成し、学生たちは貴重な実務経験の機会を得ることが出来ました。



(写真は完成した宿泊室)

入試広報

オープンキャンパス

令和7年度オープンキャンパスが6月15日、8月2日に開催され、合計約400組の中学3年生親子に参加いただきました。本オープンキャンパスでは、各専門コースの見学や学生による学校生活の様子の紹介を行いました。参加者は各コースの教員や学生の話に熱心に耳を傾け、本校への理解を深めていました。「各コースの特徴や雰囲気を感じることができた」「学生に質問ができて参考になった」など、たくさんのご好評をいただきました。

また、9月20日には福岡県内3高専合同学校説明会が実施されました。久留米高専および北九州高専と合同で開催し、約170組の参加者が、高専制度や各高専の特色について学び、進学への意欲を深めていました。

【オープンキャンパスの様子】



【福岡県内3高専合同学校説明会の様子】



産学連携

地域教育支援事業

本校では、連携協力支援事業として、大牟田市や荒尾市の小・中・特別支援学校の児童及び生徒達への出前授業や、教職員を対象とした教育講座を実施しております。本校主催事業である有明高専ものづくり体験教室では、1,000人を超える方にお越しいただき、様々な実験や体験を楽しんでいただくことができました。

今後も地域ニーズを把握しながら教育支援事業を進め、地域に貢献できますよう努めて参ります。

地域教育支援事業（4月～9月）

No.	学校名・主催	講座名	開催日
-----	--------	-----	-----

1.<小中学校対象>（連携協力推進会議事業）

【大牟田市教育委員会】

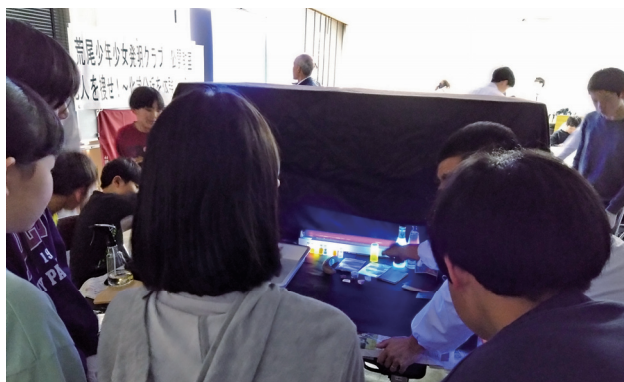
1	白光中学校	カラフルな人工イクラをつくってみよう	9月19日
---	-------	--------------------	-------

【荒尾市教育委員会】

1	荒尾少年少女発明クラブ	犯人を捜せ！～化学分析を体験しよう！～	4月20日
2	荒尾第一小学校	カラフルな人工イクラをつくってみよう	9月9日

2.<本校主催事業>

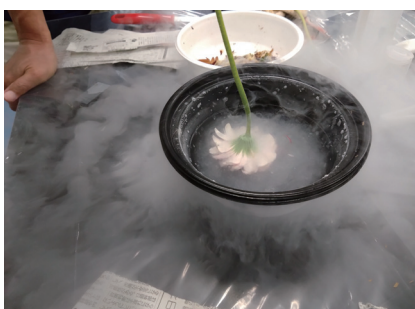
1	（協力）サイエンス支援ネット	有明高専ものづくり体験教室	8月21日
---	----------------	---------------	-------



荒尾少年少女クラブでの出前授業



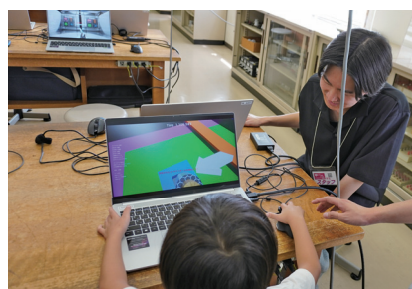
白光中学校での出前授業



液体窒素を使った楽しい実験
（ものづくり体験教室）



金属ミラーづくり
（ものづくり体験教室）



サーキットデザイン教育体験
（ものづくり体験教室）

ものづくり体験教室テーマ一覧

E	モーターを作って回してみよう！ はじめての電子回路講座	I	LEDホタル工作&サーキットデザイン教育体験！ プログラミングを体験しよう
CL	カラフルな人工イクラをつくろう！ ストームグラスを作ってみよう ペットボトルビーズアクセサリを作ろう	A	楽しいおりがみ建築 模型でつくる“憧れのマイハウス”
M	伝授！精密加工のテクニック ～金属ミラーづくり～ レーザービームで工作体験！～オリジナルキーホルダーづくり～	G	スライム作りで楽しい体験 液体窒素を使った楽しい実験
		技術部	手作りバスボムで「しゅわっ」と炭酸入浴

CDEC開所式・記念シンポジウムを開催

2025年9月29日、おおむたアリーナ（福岡県大牟田市）において、有明工業高等専門学校サーキットデザイン教育センター開所式及び開所記念シンポジウムを盛大に開催いたしました。

開所式

開所式では、関大牟田市長、浅田荒尾市長、糸永有明広域産業技術振興会長より心温まるご祝辞を賜りました。また、本センターの設立にご支援いただいた日清紡ホールディングス株式会社、TOPPANテクニカル・デザインセンター株式会社、株式会社ジードット、株式会社佐賀銀行、木村情報技術株式会社の各社に対し、感謝状を贈呈しました。

開所記念シンポジウム

開所式後には、『半導体人財育成と未来への展望』をテーマに記念シンポジウムを開催しました。会場は多くの企業・教育関係者の皆様にお越しいただき、満員の盛況となりました。

シンポジウムは以下の内容で実施されました。

【基調講演】

- ・池田 誠氏（東京大学大学院工学系研究科附属システムデザイン研究センター長）
- ・安浦 寛人氏（国立情報学研究所 副所長・九州大学 名誉教授）

お二方からは、日本の半導体戦略や世界で活躍できる設計技術者に求められる能力、そして高等専門学校が果たすべき役割について、示唆に富んだご講演をいただきました。

【高専の取組紹介】

- ・高倉 健一郎氏（熊本高等専門学校 情報通信エレクトロニクス工学科 教授）
- ・城野 祐生氏（佐世保工業高等専門学校 化学・生物工学科 教授）

国立高等専門学校機構が推進する「COMPASS 5.0」半導体分野の拠点校である熊本高専、佐世保高専より、それぞれの特色ある教育・研究の取組が紹介され、今後の高専間連携への期待が高まりました。

【パネルディスカッション】

「半導体産業を牽引する高専発イノベーション人材の育成」をテーマに、活発な議論が交わされました。九州が「シリコンアイランド」として再び注目を集める中、高専生が地域企業との連携を通じていかに新たな価値を生み出していくか、その可能性と具体的の方策が探られました。



パネルディスカッション



会場の様子



挨拶する有明高専の
石川洋平サーキットデザイン教育センター長



記念撮影する各企業の代表者と有明高専八木校長

新着情報についてはCDECのウェブサイト（<https://cdec.ic.ariake-nct.ac.jp/>）をご覧ください。



学生会だより

クラスマッチ

5月22日に春季クラスマッチが開催されました。当日は弱い雨でしたが、グラウンドの状況から雨天時競技を行いました。競技は、バレー、バドミントン、ダーツ、eスポーツの4競技でどの競技も大いに盛り上がりました。ミニゲームとして行った椅子取りゲームも大変賑わいました。

今年度初めてのクラスマッチでしたが無事に成功させることができました。次回のクラスマッチはさらに良いものになるように全力で取り組みます！

春季クラスマッチ結果

最優秀クラス賞	6 S
優秀クラス賞	3 A
競技優勝	
バレーボール	3 A
ダーツ	3 A
バドミントン	5 A
eスポーツ	2 - 5
敢闘賞（1年生）	1 - 3
ミニゲーム（椅子取りゲーム）	1 - 5



椅子取りゲーム



ダーツ競技



男子バレーボール競技



バドミントン競技



応援の様子

九州沖縄地区高専体育大会

陸上競技

男子800m : 1位 有田 晴紀
男子1500m : 2位 有田 晴紀
男子3000mSC : 1位 浦崎 華瑠
3位 藤木 宏人
男子5000m : 2位 稲生 創太
男子砲丸投 : 1位 中島 駿
3位 東 龍喜

男子円盤投 : 1位 中島 駿
男子やり投 : 3位 本梅 颯人
男子総合 : 3位
女子砲丸投 : 1位 石田さくら
2位 福田 理紗
3位 古野 陽向
女子総合 : 2位

ソフトテニス

男子団体戦 : 2位
男子ダブルス : 3位 久保田旺芽・西村 匠生
女子ダブルス : 3位 下川 紗菜・田上 朋

バドミントン

女子団体戦 : 1位
女子シングルス : 1位 江口 礼
女子ダブルス : 2位 江口 礼・永江 美結

水 泳

男子400mメドレーリレー : 1位
男子400mフリーリレー : 2位
男子50m 自由形 : 3位 石山 倫平
男子100m自由形 : 1位 廣瀬 大翔

男子100m平泳ぎ : 2位 田畑 瀬名
3位 猿渡 真尋
男子200m平泳ぎ : 2位 田畑 瀬名
3位 猿渡 真尋
男子100m背泳ぎ : 4位 岩木 耀平

ハンドボール

3位

バスケットボール

男子 : 3位 女子 : 3位

卓 球

男子団体戦 : 1位
男子シングルス : 1位 青山 涼真
男子ダブルス : 1位 大沢 舞輝・青山 涼真

剣 道

男子団体戦 : 1位
女子団体戦 : 1位
男子個人戦 : 1位 奥園 健之郎

サッカー

3位

ラグビー

準決勝敗退

バレーボール

男子 : 1位

テニス

女子個人戦 : 2位 福島 愛美

弓 道

男子個人戦 : 2位

硬式野球

1回戦敗退



女子バドミントン



男子ハンドボール



男子卓球

全国高専体育大会

陸上競技

男子800m : 2位 有田 晴紀
男子1500m : 5位 有田 晴紀
男子3000mSC : 1位 浦崎 華瑠
7位 藤木 宏人
男子5000m : 11位 稲生 創太
男子砲丸投 : 2位 中島 駿

男子円盤投 : 5位 中島 駿
男子やり投 : 19位 本梅 颯人
男子総合 : 4位
女子砲丸投 : 11位 福田 理紗
13位 石田さくら

ソフトテニス

男子ダブルス : 2回戦敗退
女子ダブルス : 1回戦敗退

バドミントン

女子団体戦 : 1回戦敗退
女子シングルス : 1位
女子ダブルス : 1回戦敗退

水 泳

男子400mメドレーリレー : 7位
男子400mフリーリレー : 予選敗退
男子50m自由形 : 予選敗退
男子100m自由形 : 5位

男子100m平泳ぎ : 予選敗退
男子200m平泳ぎ : 予選敗退
男子100m背泳ぎ : 予選敗退

ハンドボール

1回戦敗退

バスケットボール

1回戦敗退

卓 球

男子団体戦 : 予選敗退
男子シングルス : 決勝トーナメント 1回戦敗退
男子ダブルス : 決勝トーナメント 1回戦敗退

剣 道

男子団体戦 : 1位
女子団体戦 : 予選敗退

男子個人戦 : 2回戦敗退 奥園健之郎
準決勝敗退 大崎奎太朗

バレーボール

男子 : 3位

テニス

女子個人戦 : 1回戦敗退

弓 道

男子団体戦 : 予選敗退



男子ハンドボール



男子弓道

岱明寮だより

令和6年3月に新紅葉棟が竣工し、これまで改修が行われていなかった最後の建物である若葉棟の改築が決定しました。令和7年10月から解体工事が始まり、来年の9月に竣工予定です。これで、岱明寮のすべての棟が新しくなり、以前の外観とは大きく変わる予定です。



若葉棟（北側）



若葉棟（北側）



若葉棟（南側）



若葉棟（北側）



若葉棟工事前



若葉棟解体工事中

グローバル教育

令和7年度前期に実施した事業

夏の海外派遣として以下の事業に学生が参加しました。

1) **2年生シンガポール海外研修** は、今年度は2年生201名を対象に実施しました。日程は2年1,2,3組のA団が8月24日～28日、2年4,5組のB団が8月25日～29日で、いずれも3泊5日でした。研修では、多くの学生が積極的に英語で交流を深める体験ができ、国際的なマナーの下で集団行動と協調性を身につけることができたようです。



マーライオン公園で記念撮影



セントーサ島にて記念撮影



異国の食事にチャレンジ



ガーデンズバイザベイで記念撮影

2) **豊橋技術科学大学主催 2025年度ペナン海外研修** が8月17日～8月30日に実施されました。この研修は、全国の高専を対象にしたもので、本校からは4名の学生が参加しました。これは参加した7高専の中で最も多い人数となります。

高専生と技科大学生・大学院生が共に、英語研修、企業視察、現地大学訪問、歴史文化施設視察等、多彩な活動を行いました。

参加学生は、「現地集合・現地解散」となっておりましたが、引率なしで現地までの往復を行うことができました。



現地の学生との交流の様子



企業見学の様子

3) タイ・バンコク企業MK Watertechで、8月18日～9月12日に、生産情報システム工学専攻1年生の森健亮さんが、インターンシップに参加しました。インターンシップでは、取引先の企業訪問に同行して打ち合わせに参加したり、実際の水処理施設を見学したりと、学校では体験できないことを経験できました。



ワットアルンを背に
ナイトクルージングを楽しむ森さん



水質検査をしている様子



タンク調査を行っている様子

4) 機構本部主催のタイ・タマサート大学との学生交流派遣事業で、8月19日～9月26日に、本科4年生エネルギーコースの留学生ケイさんが、アカデミックインターンシップに参加しました。

タマサート大学では、AIの自然言語処理(NLP)を用いて、論文中の文章を自動的に要約・整理し、英語・日本語・ビルマ語の3言語で並列表示するプログラムを作成し、そして、各言語で共通する重要語(キーワード)を抽出する研究をしました。また、タイ語の授業にも参加し、日常会話を学びました。



新居浜高専の先生がタマサート大学を訪問時に
指導教員らと記念撮影



成果発表後に指導教員からコメントをもらうケイさん

今年度の後期の行事

1) 夏実施の海外研修・インターンシップ報告会

10月14日に、夏休みの間に研修等に参加した学生たちが、それぞれの成果発表報告を行いました。この様子は、高専機構本部や豊橋技科大にもライブ配信されました。

2) 英語プレゼンテーションワークショップ

カナダ人講師による英語発表を行うためのコツを学んで実践するための講座を、今年度は10月と12月にオンラインで実施しました。

3) 「トビタテ! 留学JAPAN日本代表プログラム」説明会

11月13日に、1～2年生を対象とした「高校生コース」と3～5年生、専攻科1年生を対象とした「大学生コース」の学内説明会を実施しました。

書類選考、面接を通過すると、日本代表として来年度海外派遣されることになります。有明高専では、過去に14名の先輩たちが採択・派遣されています。

4) Student Research Symposium 2025

高専機構が進めるベトナム支援事業の一環として、有明高専は、ホーチミン市にあるカオタン技術短期大学への支援を行っており、今年度は12月10日～14日に学生を派遣し、Student Research Symposium 2025を実施いたします。シンポジウムでは、ロボット研究部の活動や技術的な発表を英語で行います。

5) ツールーズ(フランス)アカデミックインターンシップ派遣

2月～3月にフランスの協定校であるツールーズIUTへの派遣を予定しています。相手校からは、毎年4～6月に学生を受け入れており、本校からも専攻科生、4年生を対象とし、2か月の派遣を実施しています。

6) スウェーデン研修

ストックホルムの協定校への派遣事業を、令和5年度からスタートし、今年度も3月に11日間の予定で、学生10名の派遣を行います。相手校での授業参加のほか、大学での特別授業、ホームステイなど非常に充実した内容で、すべての場面で自分が主体的に発言する英語力と積極的な姿勢も要求されます。

7) スウェーデンNTI校からのインターンシップ受入

ストックホルムの協定校から今年度は2月～5月に7週間の日程でアカデミックインターンシップ学生を受け入れる予定です。受入期間が春休み中を含むため学生との交流があまりできませんが、さまざまな異文化に触れて多くの体験をすることを期待しています。

部活動紹介

吹奏楽部

吹奏楽部は、現在50名を超える部員が所属しており、毎年1月に開催している定期演奏会に向けて修己館2階・音楽鑑賞室にて日々練習に励んでいます。

加えて、文化祭（ありタムフェスタ）でのミニコンサートや、入学式及び卒業式での国歌や校歌の生演奏、さらには、大牟田特別支援学校・高等部との音楽交流会など、一年を通してバラエティに富んだ活動を積極的に行っています。



大牟田特別支援学校・高等部との交流音楽会



ロボコン地区大会での演奏

フォークソング同好会

フォークソング同好会は部員37名の隠れた大所帯の同好会です。「音楽好き集まれ！」をモットーに音楽のジャンルを問わず部員を募集しています。主に部室・視聴覚室にてありタムフェスタでのバンド演奏に向けた練習を行っていますが、個人での楽器練習をしている部員も多くいます。近隣の市町村からイベント参加の声かけも頂いており、いずれは同好会として参加してみたいと考えています。



ありタムフェスタでの演奏



ありタムフェスタでの演奏

※学年は令和7年度当時のもの
E : エネルギーコース
C/L : 応用化学／環境生命コース
M : メカニクスコース
I : 情報システムコース
A : 建築コース
G : 一般教育科



有明高専だより 第168号
編集：有明高専企画・広報室

〒836-8585 大牟田市東萩尾町150
TEL 0944-53-8861（学生支援係）
<https://www.ariake-nct.ac.jp/>

